

# 令和2年 飯田市教育委員会 10月定例会会議録

---

令和2年10月14日（水） 午後3時15分開会

---

## 【出席委員】

教育長	代田 昭久
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	伊藤 昇
教育委員	三浦 弥生
教育委員	上河内 陽子

## 【出席職員】

教育次長	今村 和男
地域人育成担当参事兼生涯学習・スポーツ課長	
	青木 純
学校教育課長	桑原 隆
学校教育専門幹	湯本 正芳
文化財担当課長	馬場 保之
市公民館副館長	秦野 高彦
文化会館館長	棚田 昭彦
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長	久保敷 武康
歴史研究所副所長	北原 香子
学校教育課長補佐	滝沢 拓洋

---

#### 日程第1 開 会

○教育長（代田昭久） それでは改めましてこんにちは。ただいまより令和2年飯田市教育委員会10月定例会を開催したいと思います。

---

#### 日程第2 会期の決定

○教育長（代田昭久） 日程の第2、会期の決定、今月の会期、本日1日とさせていただきます。

---

#### 日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（代田昭久） 日程第3、会議録署名委員の指名、今月の定例会の会議録署名委員、上河内陽子教育委員にお願いします。

◇教育委員（上河内陽子） はい。

---

#### 日程第4 会議録の承認

○教育長（代田昭久） 日程第4、会議録の承認、9月定例会の会議録、お渡したとおりの承認でよろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、承認ということでよろしくをお願いします。

---

#### 日程第5 教育長報告事項

○教育長（代田昭久） 日程第5、教育長報告事項。

A4裏表と冊子になりますが、教育7団体の要望書、ご覧ください。

まず1つ目ですが、教育委員会の学校訪問、本当に連日ありがとうございます。こうして定例会で会っても久しぶりという感じがなくて毎日会っているような感じ、それほどご多忙のところをお時間をいただいていることに改めて感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。残り午前中費やしてますが、残り2日になりましたが、その残りもよろしくお願いします。

そんな中で私が感じているところでありますが、本当に教育委員さんの指摘っていうのが、我々教育現場にいた人間にも、また学校現場の今いる人にも気づけなかったところをご指摘いただいていることに本当にありがたいなと思います。また、言いにくいことも忌憚なくご意見していただいていることに感謝申し上げたいなと思っています。

何か正しいとか新しくないとかっていうことはなくて、委員の皆さんが感じたことを学校現場に伝えるということがとても大事だと思いますので、今後も遠慮せずに言っていただくことが学校にとって本当に有益になるんだろうというふうに思います。

また、実際に聞いていて、これは北澤教育長職務代理者とも話しますが、我々、年に2回は全教室回るっていうので、その変化の度合いがつぶさにわかるわけですが、それでも年に1回わたって去年のことをしっかり思い出していただいて「去年より良くなったなあ」とかですね、そんなご評価をいただいて、しっかりと事前準備もしていただいていることに本当に敬意を表したいなと思いますので、今日、今月の教育委員報告事項等もありますので、車の中では意見交換してますが、公の場でもご発言いただければありがたいなと思っておりますのでよろしくお願いします。

続きまして、さきほど別紙のほうの紹介をいただきましたが、下伊那教育7団体の連絡会の要望書を県の原山教育長のほうに届けてまいりました。10月8日木曜日、午後の15時から16時まで1時間という時間で行ってまいりました。

この教育7団体というのは歴史が古くて、飯伊の市町村教育委員会連絡協議会、飯田下伊那PTA連合会、下伊那教育会、下伊那小学校校長会、下伊那中学校校長会、長野県下伊那校長教頭組合、長野県教組下伊那支部ということで、それぞれの代表が集まり、またちょうど県議会中ではありましたが、飯田下伊那選出の4名の県会議員の皆さんと一緒に要望活動をさせていただきました。

たくさんあるんですけども、一昨年度からもう少し焦点化をしようということで、今年度も4点について強い要望をしてきましたので、私のほうからお話をさせていただきたいと思います。

まず、高校再編に伴って飯田OIDE長姫高校の夜間定時制課程へ多部制・単位制の補完をするという今大きな方向になっていますが、この図の要望書の2ページをご覧ください。資料1、こちらの2ページをご覧ください。資料①のところにありますように、通常多部制・単位制ということになると、午前・午後・夜間部とそれぞれの部があって、午前中から午後まで幅広い時間帯で履修ができるということが多部制・単位制のイメージであります。ただ、今回、飯田OIDE長姫高校に設置される単位制の履修時間というのは、多部制ということに言葉を使うのであれば、そこまでに至っていない、いわゆる午後部の7時間目8時間目が受講可能できるという状況になっていますので、このところは誤解を招きやすいし、さらにはその多部制を補完するような機能の充足、補完については今後もやっていただきたいということの趣旨で要望をしてまいりました。

2 番目です。ページをめくっていただいて3 ページご覧ください。山間地における教育の水準のさらなる向上のために複式学級の指導を行える人材育成や教員不足の対策を行っていただきたいという要望です。

ここの文書にもありますように、今現状として飯田下伊那の教員や講師そのものが足りなくなる現状があります。さらに、へき地ということでその指導が行える先生たちも非常に少ないということで、今後も山間地で働く手当等、県が講師となる人材情報収集や素早く対応できる仕組みを整備していただきたいということをお願いしてきました。

これは人事は県教育委員会の責任ですので、そういったこともあるんですけども、ただ現実的には現場で各教育委員会、各学校が人集めをしているという現状もありますので、県との連携をしながら本当に先生不足というは大きな課題なので、これは県教育委員会とも連携しながら共同して解決していきたい、そんな課題を確認をしてみました。

3 番目、地域の実情にあった通級指導教室の拡充をお願いしたいということで、ア・イ・ウ、言葉の教室の増設のお願い。イ、LD等通級指導教室の小中学校への増設、担当職員の複数配置、さらには中学校進学後の環境づくりについての検討をお願いしたいと。ウ、LD等通級教室担当職員により行われている巡回型の指導、サテライト型の指導について、弾力的に運用できるようにお願いしたいということです。

この要望もあってか、また学校現場、教育委員会からもこうした通級指導教室の拡充はお願いしているところで、実際には例年増やしていただいている現状があります。ただ、十分とは言えないのでこういった拡充をさらにお願ひしたいというものであります。

4 番目、ICTを活用した教育が児童・生徒にとってより良いものになるように支援をお願いしたいということで、こちらも3点、まず南信教育事務所飯田事務所のほうにICTを専門に担当する指導主事の配置をお願いしたい。2番目、統合型校務支援システムの導入については料金体系の早急な見直しをしていただきたいと、学校が、規模が人数が少ないのに学校数が多いと、今、県が推奨する校務支援システムというのは1校あたりの単価になっているので、飯田下伊那のように人数が少ないと当然料金体系が高くなるという構造があるので、その見直しをお願いしているところであります。「ウ、将来的な展望に立って南信地区におけるICT関連の研修・研究拠点づくりにご尽力いただきたく思います。」ということで大都市、長野や松本、塩尻等、先生方が学ぶ拠点というのはあるんですけども、これからICTを含めた先生方の学び直しということは非常に重要な課題になってくるので、そんな拠点作りについてもご尽力いただきたいという要望です。

明確な回答は、何かイエスとか何々をするというものはなかったんですが、来月、議事録

が出ますので、来月の定例会のほうで文書による回答をまた皆さんにお伝えしたいと思いますが、それでもこの会が意義があるなと思ったのは、やはり南信のこの地域の課題とか現状というのはなかなか北の長野には伝わりにくい、県庁には伝わりにくい中で1時間の時間をもってやりとり、意見交換ができるということが大事な時間だなあというふうに思っていました。できうればもう少し成果が出るような形で来年度もしっかりと何を要望していくかっていうのは事前準備しっかりして行きたいなと思ったところです。

3番目、竜丘児童自由画展、美博で開催ということで、本日の連絡報告事項の中で紹介があると思いますが、一足先にというか、済みませんもう観ていらっしゃった委員の皆さんがいたら済みませんが、私、先週の週末の土曜日、講座も含めて観させていただきました。本当に素晴らしい展示会だなあというふうに思いました。当時、教科書をきっちりと正確に具体的に模写をするという授業の中で「よくもまあここまでの作品ができるだなあ」というふうに思いました。

講座の中でやり取りがあったんですけども、すごく難しいのは自由奔放って言って、投げままだじゃないんですね。要は自由に描いて良いんだけど、叱るところは叱るし、褒めるところは褒める、ここはどういう塩梅なんだろうかっていう参加者からの質問があったんですが、なかなかそれは難しいもんだなあということが私の中でもすごく明確に言葉にできない状況ではあります。ただ少なくとも木下紫水先生が6年間もち上がりでクラスを持っているということで、やっぱり指導の連続性とか継続性というものは大きな効果を出しているんだろうと、こんな解説もあったし、毎年毎年本当に1人の絵を追っていくだけでも見事に成長してる絵を観ると勉強になるなと思いました。改めてその百年前にこの地でこういった実践が行われていたことを誇りに思うと同時に、こういった実践が百年後も語り継がれるようなものを今私たちがつくっていかなくちゃいけないな、実践していかなくやなとそんなことも思いました。11月8日まで行われていますのでぜひご覧いただき、こちらのほうも感想等をいただければ嬉しいと思います。

私のほうからは以上です。

何かご意見等あれば、お願いします。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） それでは、またよろしくお願いします。

---

#### 日程第6 議案審議（2件）

○教育長（代田昭久） 続きまして、日程第6、議案審議です。本日の議案審議、2件となります

---

議案第 70 号 公民館長の任命について

○教育長（代田昭久） まず議案第 70 号、「公民館長の任命について」お願いします。

秦野市公民館副館長、お願いします。

◎市公民館副館長（秦野高彦） それでは「公民館長の任命について」お願いをいたします。

議案第 70 号をご覧ください。本議案は西森六三南信濃公民館長の辞職に伴い、社会教育法第 28 条により教育委員会の任命を求めるものでございます。

任期は前公民館長の残任期間としまして令和 2 年 3 月 31 日までとします。

任命いたします館長は、飯田市南信濃八重河内御子柴さゆりさんです。

よろしくお願ひいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、議案第 70 号について説明をいただきました。ご質問ご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） はい、それでは、議案第 70 号、承認ということでよろしくお願ひいたします。

---

議案第 71 号 令和 2 年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について

○教育長（代田昭久） 続きまして、議案第 71 号、「令和 2 年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について」お願いします。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは議案第 71 号、「令和 2 年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について」でございます。

認定の対象者につきましては、別紙でご用意させていただいたとおりでございます。それぞれ記載いたしました認定要件にて、この認定をいただきますようご提案申し上げます。

よろしくお願ひいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま、議案第 71 号の説明がありました。何かご質問ご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、議案第71号、承認ということでもよろしく願いいたします。  
以上をもちまして、議案審議を終了させていただきます。

---

日程第7 協議事項

○教育長（代田昭久） 続きまして、日程第7、「協議事項」、今月の協議事項はございません。

---

日程第8 陳情審議

○教育長（代田昭久） 日程第8、「陳情審議」、今月の陳情審議はございません。

---

日程第9 その他

○教育長（代田昭久） 日程第9、「その他」。

---

（1）教育委員報告事項

○教育長（代田昭久） それでは教育委員報告事項、それぞれの委員の皆さん、報告がありましたらよろしく願いいたします。

はい、伊藤教育委員お願いします。

◇教育委員（伊藤 昇） 先ほど、教育長より学校視察の件がございまして、ちょっとそれにつながる話になるんですが、先ほどの話にありましたようにあと2日の全日程が残っているわけですが、7割方か8割方、今終えたところで学校視察行ったときの学校側の受け入れ体制にちょっと差が出てきているのかなというそんな、結論からいくとそういうことなんですが。私たち教育委員は先ほどお話しがありましたように教育長や職務代理が4月5月に1度行って、私ども秋に年に1度このときに行くわけですけれども、学校行事に参加するのはそれはさることながら、授業そのままを公式の場で見させてもらうということで、教育の中でも学力を身につけるのはやっぱり授業だということで、授業を、生の授業を見させていただくというところに1番注目をおいているわけです。

そんな中で、小さな学校もあれば大きな学校もあって、小さな学校は学級数が9以下なんで、まあ余裕を持って1クラス四、五分かけて回ってくるわけですが、大きな学校になりますと、20学級から30学級近くありまして、例えば25学級あると1クラス1分見てももう25分、移動入れていると30分40分でもうやっとなんて回ってくるんですが、その1分をその貴重な1分を結いプランはどうなっているのか、あるいは授業をどんな授業をしている

のか、もちろん私、教育の授業をつくれるようなまったくの素人ですけれども、それなりにそういった目で黒板の板書とか電子黒板をどうやって使うとかそうやって見てくるわけですが、そんな中で、今回、大きな学校、とある学校としておきますけれども、大きな学校でたまたまそうですね、25クラスくらいあって、体育の授業があって、そうですね、半分以上だったですね、たまたまテストがあったその後ってということで、答案用紙が配られてこの答案用紙の答えは正解はこれでこういう答えを出しているの、こうだあだあっていうそういった授業、それも必要だと思うんですが、なんか私どもが1年に1回やっとの思いで行ったときのその1分間というのは非常に貴重な1分間なので、やはり授業を見たいなという思いがあるわけですね。それでまあ学校運営や学校授業のことにあまり校長先生初め責任持ってやっておられるんであれあまり口出ししてはいけないと思うんですが、やっぱりその1年に1回のその貴重な1分間、授業をしているところを見たいなと、そういう要望が教育委員の1委員としてあってもいいんじゃないかなと、これが確かに視察の車の中で教育委員の中で5人で共有はしていますが、やっぱりこういう公式の場でそういう意見があったっていうことを残してもらって、どういうふうに今後それを展開していただくかわかりませんが、そういう要望があったということは伝えたいなと、そんな思いで発言させていただきました。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

今の学校教育視察の件で出ましたが、この件で、この件に関してでも良いですけれども、学校訪問に関して何かあればいかがでしょうか。

上河内教育委員、お願いします。

◇教育委員（上河内陽子） 同じく学校訪問に関連してお話をさせていただきたいと思います。

そうですね、やはりその貴重な時間、見せていただく中でやはり「良いな」と思える学級、授業いろいろ見せていただき、新鮮な気持ちで毎回回らせていただいております。そんな中でやはりすごく今大きな激動の時期だということを実感します。

1つに10月からタブレットが入ったということで、ちょうど導入をしたところと、まだこれからだということがあるという状況でした。そんな中で、すごく先進的にもう使っている学校、三穂小の算数の授業なんかを見ましたところ、本当に上手に使っていてびっくりして、こんな学校の勉強がこんなふうになり得るんだということで大変びっくりしました。とても有効だと思いましたし、子ども同士でいろいろ考えるっていうことも大事にしながらタブレットのメリットを使っていくということが出来るんだというふうに見ることができました。

そうしたときに今、コロナ禍にあって、結構、親の中ではタブレットというかスマホとかゲームとかに子供がどんどん流れているという不安があるかと思います。先月、私の子供の六年生の懇談会に行ったときに親たちが口をそろえて「もうゲームばかりで」とか、「30分決めてもとても終わらなくて、オンラインでゲームをして言葉遣いがとても悪くなった」というようなことを口々に言って、教室のほぼ9割方がそんな話になりまして、まあ1人か2人くらい「家は与えてないから」という家庭があったというふうに思いました。

それは六年生ではそうだけれども、四年生のお母さんに聞いてみたところ、「四年生のクラスではそんなことはなかった」、「いや使ってるのは家ぐらいだった」ということで、なんかこう学年によってその温度差というのがすごくあるというふうに感じました。

となるとやっぱりそういったICTといったメディアのようなものは小学生一年、二年、三年、四年、五年、六年と学年ごとに違ってくる課題があるのかもしれないなというふうに思いました。

今回、学校にタブレットが入ることで、子供たちの中でもリテラシー、そういったいろいろなものを使うものがどんどん上がっていくといいなあというふうに感じます。またそういった授業が展開される中でグローバルな世界につながっているという感じをととても持つと思うんですけども、一方で対極としてやっぱりローカルっていう地域のこと、学校の中ではお蚕様を飼っている学校もありましたし、虫をいっぱい捕ってくる子がいて、それをみんなでどういう虫とか、どういう蛾だとかいうことを調べたりということもありましたし、ふるさと学習とか本の読み聞かせとかそういった自然豊かなことをしっかり見ることでこうした自由画というものも生まれてきたと思いますので、そういった面も大事にしながら、そのどちらも共存しながら飯田市の教育がもっとバランスを取りながら良い方向に、ICTとさらに体験や自然っていうのが特に小学校の低学年くらいの内はそういったものがものすごく入ってくる時期だと子供を育てていて思いましたので、子供の年齢も見ながら上手に使って教育を良いものにしていければいいなというふうに感想を持ちました。

以上です。

○教育長（代田昭久） ありがとうございます。

三浦教育委員、お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） 先ほど、伊藤教育委員が言われた件に関しましては、実際、私も感じたところとして、やはりテスト返却にあって何も黒板に書いてない状況で一方的に生徒さん、児童・生徒に解説しているっていう状況というものを見させていただくのはどうかといったところは意見として持ったところではあります。

しかし、テスト返却といったところでも、きちんと今日、こういうことを行うんだっていうポイントをきちんと板書された中できちんと黒板で解説をするとそういったところの返却のあれはその学校だったか他校だったかちょっと忘れてしまいましたが、そんなところを見させていただくっていうとまたちょっと話が個人的には違いますが、そういった授業というものがあるんだなというところで見させていただいた、いい視点になったかなということを感じております。

全体的に学校訪問させていただいている感想としましては、学校運営、やはり校長先生、教頭先生のあり方によってやはり教育のスタイルというものが変わっていくんだなというところを実感させていただいております。校長先生、教頭先生が異動でお替わりになるわけですけれども、それによって本当きちんと三観点を抑えてある授業、板書がきちんと整っているというところですか、あと研究担当の先生ですか、教務主任の先生ですか、教科主任の先生ですか、そういう先生方とのきちんと連携が図られていて、若い先生の授業をきちんとしていると、そんなところを見させていただくと、本当に学校運営というものがいかに子供たちの教育、授業のあり方にとって大切なんだろうということは本当に感じさせていただいています。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

北澤教育長職務代理人、お願いします。

◇教育長職務代理人（北澤正光） かなり重なるところがあるのですが、大きくは3つくらいになります。

1つは、こういう場で言うて良いのかどうかかわからないのですが、今、三浦教育委員からもあったのですが、私は今年で学校の全部の教室見させていただくのが9年連続、すくなくとも年1回は必ず全部の教室回らせていただくことがあって、特にここ2年間は、年に2回ずつ行かせていただくという経過になっているので、数年前からのそれぞれの学校の変遷というか、授業の様子とか課題とかっていうのを見させてもらってきている中でいうと、校長先生、教頭先生だけのことではないとは思いますが、でも、しばらく前にはかなり学校に活気があるなと思っていた学校が、なぜか最近「あれ、大分雰囲気変わっちゃったなあ」というような、逆にしばらく前は「ちょっと心配だな」と思っていたところが、職員や校長先生、教頭先生お替わりになってきた中で、学校全体がみんなで同じ方向を向いて力を集めているなと思われるようなことを目の当たりにつけ、やっぱり学校をコーディネートしていく校長先生、教頭先生中心にしてみんなで職員が心を合わせて子供のほうを向い

ていこう、またはみんなで最低限こういうことは子供に向かって、あるいは地域に向かって発信していこうっていうようなことが通っている場合と通っていない場合の大事さっていうのを改めて感じています。

それに合わせて、2つ目になるのですが、訪問した学校の中で、コロナ禍でもあるので、今までの半年間をきちっと職員からもアンケートを取り、生徒の声も聞き、この半年間、やろうと思っても十分できなかったこともあったけれど、どんなふう子供たちがなっているか、コロナではあるけれど良くなってきているってことと、逆に課題も端的に捉えられて、その課題をさらに改善するためにこの下半期に向かって行きましようとして続けている学校があったりして、とっても学ばせてもらいました。そして、その子供たちの様子をまとめたものがとっても子供をよく見ている。コロナでやれるはずのことができなかったが、そのことで逆に子供たちの独り立ちがすごく促されているっていうように捉えてやっているのを見たとき、コロナも決して悪くない。逆手にとって子供たちが自分で考えてやろうとしている、または文化祭も制約が多いが、制約が多いからこそぜひ自分たちにやらせてほしいといって子供たちが踏み出してきたという学校がいくつかありました。そういうようなところをみると、制約があることで子供たちが自分たちでなんとかしてこうという姿勢を生み出している。ただコロナで「できないできない」、「だめだめ」って言っている学校ではないかと、逆にその中で精一杯やろうとしているそんな学校をいくつか見て、それはとてもありがたいうれしいことだなと思ってみてきました。

あと3点目は、市の行政にも関わるのですが、タブレット端末をいち早く導入していただいたということを含め、多くの学校で聞かれたことが、トイレの整備とかそういうのを進めていただいて、子供たちが本当に喜んでますという声がいくつかの学校からあったこと、それから授業の中でデジタル黒板がかなりの教室に既に入っているんですけど、そのデジタル黒板を使って授業をしている教室も、学校によって若干の差はありますが、かなりの学校の教室でデジタル黒板は最低限つかっている授業がかなりあった。設備を整えてバックアップしていただいている。学校のほうも、それに何とか答えようとして非常に意識してくれているなあということで、それもとてもありがたい。これからさらにタブレットと連結させて新しい授業のあり方を具現するような方向で進んでいってもらえると嬉しいなと思いました。

市のほうでも財源が厳しい中を精一杯準備してもらって、合わせてエアコンも去年の内に整備してもらったことが今年の上半期、夏休みが短くなったりしても全然問題にならず、ほとんどの学校が授業の9割以上を取り戻しているといっていましたので、そういう影

の支えが本当に効いているなど思って学校訪問をしてきました。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

伊藤教育委員の話に関して言えば、やはり本来で言えばテストのタイミングになっちゃうので、ずらしたら良いと思うんですが、現実的には日程決まった後、その日になる可能性もあるので、来年度以降、気をつけてはいきたいなどは思いますが、ただ、そもそも論、テスト返しもきちんとした授業なので、やはりテスト返しの実態を見ちゃったなというのも正直なところだし、指導としてはやっぱりフィードバック、その場でご指摘いただいたのでありがたかったのですが、テスト返しも1つの授業としてしっかりと三観点を持ってやるということがむしろ大事なと、むしろじゃないですね、日程調整はしますけど、そこもしっかり学校の現場にやってほしいなと私自身も思いましたので、しっかりと来年度に生かす形にしていきたいと思います。

ただ1つだけちょっと補足するとですね、教頭先生が頑張られた様子、目に付いたかと思うんですが、3年前までほとんど校長先生がしゃべり倒すってようなことが多かったので、学校経営感覚をしっかりと教頭先生も持っていただくと同時に、教育委員会の皆さんの指摘っていうものもぜひ聞いていただきたいということを昨年度の校長会から話すようにしているので、そういった意味では今まで回ってきたすべての学校で教頭先生が、まあ時間の軽重はありますけれども、それぞれ学校の本当にナンバー2としての立ち位置で説明している、また受け答えしているのは立派だったなあなんていうふうに思いました。

はい、ありがとうございました。学校視察関係、伊藤教育委員からありましたが、ほかにありますか。

はい、三浦教育委員お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） はい、南信教育事務所の牛越主幹指導主事の学校訪問に帯同させていただきました。10月1日座光寺小学校のほうに行っております。

指導主事、主幹指導主事からはいろいろなご指摘、そしてご指導を先生たちもいただいております。

私の感想としましては、座光寺小学校、こちらのほうの学校訪問でもお話はいただいていたところではあったんですけども、地域の方たちがこのコロナ禍の中で学校に消毒にこう入ると、それを見た六年生の子たちが地域のおじさんおばさん、しいては自分の家のおじちゃんおばあちゃんが消毒に入っている、じゃあ僕たち私たちも消毒できるんじゃないかなんて話があったということで、六年生の皆さんたちのちょうど消毒が始まるその日がこの10

月1日です、そんな初日を見させていただいております。

2人グループくらいになってでしょうか、学校のドアのノブですとかそういったところを消毒しているといったところで、きちんと消毒のほうをしてくれておりました。ちょっと胸が熱くなるようなものもございました。地域と学校がつながって、また感謝や思いやりがというところも見させていただいたなというようなところを感じております。

もう1点は、こちらのほうは今度は1分間の授業訪問という形で授業見学・視察ということではなくて、少し時間を取っていただいて、新任の先生の授業のほうをちょっとゆっくり見させていただいております。

新任の先生の授業を見させていただきまして、ゆっくり見ますと本当にいろいろなものが目に飛び込んできます。本当に新任の先生、男性教諭、子供目線で休憩時間から入らせていただきましたけれども、子供たちがすごく集まっているところで何があったんだろうと思ったら、中央に先生がいて子供の目線になっていたので、ちょっと先生の姿がわからなくなったというような形で本当に子供目線、授業が始まって周りを見渡しますと、整理整頓がとてできているということや、綺麗に拭かれた後ろのロッカーの上にきちんと花瓶と花がちゃんと置かれているようなところ、掲示物の字もとても大きく写真も入れてとてもわかりやすいというようなところも見させていただきまして、とてもわかりやすい授業、授業のクラス運営を新任の先生されてるなというところを見させていただきまして、牛越先生のほうからもそんな解説もいただきながら「そうなんだな」ということで授業を見させていただいております。

その新任の先生との懇談の席でその新任の先生が「どうですか」というように牛越先生に聞かれたときに、「毎日毎日教育感が変わって行きます」と言われたところもとても印象的でして、これで良いと思ってたけれども、そうじゃなかったんだ、こうなんだ、でもこれじゃなかったんだ、こうだった。日々教育感が変わっていきますというようなお話がありました。

ほかの先生方との懇談にも同席させていただいておりますけれども、教務主任の先生、副教務主任の先生そういった先生方との、とてもいい人間関係があるなといったところも感じておりましたし、そこにやはり教頭先生、校長先生といったところのやはり関わり、やはり教員同士のそういった関係の上に若いそういった新任の先生の子供たちの中で先生として育っていくんだな、成長していくんだなっていったところを見させていただきましていい帯同させていただきました。ありがとうございました。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

この件を含めてほかにご意見等、ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） はい。貴重な意見、本当にありがとうございました。

---

(2) 教育次長報告事項

○教育長（代田昭久） それでは続きまして、「教育次長及び地域人育成担当参事報告事項」お願いいたします。

◎教育次長（今村和男） ありません。

◎地域人育成担当参事（青木 純） ありません。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

---

(3) 学校教育課報告事項

○教育長（代田昭久） (3) 番、「学校教育課報告事項」お願いいたします。

◎学校教育課長（桑原 隆） 特にございませぬ。

---

(4) 生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（代田昭久） (4) 番「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」お願いいたします。

◎地域人育成担当参事（青木 純） はい。風越山で写真を撮らまいか、こちらチラシがございまして、風越登山マラソンがコロナの影響で中止になったということで、完全な代替というわけではありませんが、その趣旨の1つである風越山に親しみを込め、1人でも多くの方が愛着を、また、新たな魅力を感じ取ってもらってそれで次の大会につないでいくことを目的として、写真を応募してもらうこと、1カ月間行って行きます。今のところ数通の応募があったというところで、こちら適宜報告をさせていただきます。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

---

(5) 公民館関係報告事項

○教育長（代田昭久） (5) 番「公民館関係報告事項」お願いいたします。

秦野市公民館副館長、お願いいたします。

◎市公民館館長（秦野高彦） 2点お願いをしたいと思います。

まず飯田市成人式についてでございます。これは口頭でご報告をさせていただきたいと思  
います。令和2年度の飯田市成人式の開催方針についてご報告させていただきたいと思  
います。

飯田市公民館では、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しまして、令和2年度の飯  
田市成人式の開催方針について協議を進めてまいりましたが、新成人の成人式実行委員との  
意見交換や地域の関係者の思いを踏まえまして、10月12日月曜日の館長会におきまして令  
和3年1月10日日曜日を基本に開催するという方針を決定させていただいております。  
ただし、令和2年度に限り各地区の実情に踏まえまして、令和3年12月までの間に延期で  
きるものということにさせていただいております。この開催方針に基づきまして各地区公民  
館を中心に調整を進めまして、10月19日までに各地区の開催日程を決定することとなっ  
ております。なお、開催に当たりましては感染症対策に細心の注意を払って運営をしていき  
たいというふうに考えております。

以上令和2年度の成人式の開催方針についてのご報告とさせていただきたいと思  
います。

続きまして、竜丘自由画100周年に当たりまして、地域の取り組みについてご報告をさ  
せていただきたいと思います。

資料ナンバー1ページをご覧ください。先ほど教育長からもお話をいただいております  
けれども、今年、竜丘の児童自由画100周年ということになるわけですが、竜丘の小  
学校の教員であった木下紫水を中心とした竜丘小学校の自由画教育は全国でも先駆的な事  
例として知られておりました。

この竜丘小学校の自由画教育は、それを地域で支える気風があったからというふうに言わ  
れております。飯田市美術館ではご案内のとおり11月8日まで竜丘自由画100周年展  
が開かれておりますけれども、地域でも100周年に当たりまして様々な取り組みが進めら  
れております。

竜丘小学校の取り組みといたしましては、竜丘小学校5年生による企画展の鑑賞。地域と  
学校との共同活動としましては、学校、PTA、地域が連携しまして、小学校への校内への  
自由画の展示の実施。地域と学校が連携しまして編集委員会を立ち上げ、公民館中心でござ  
いますが、編集委員会を立ち上げまして、自由画教育の副読本を制作。地域の活動としま  
しては昨年度より竜丘市民大学講座というのを自由画についての学びや自由画保存検証活  
動を行っております。

このように100年前、竜丘小学校の自由画を支えた気風は、今でも竜丘地域に受け継が  
れております。公民館ではこれからも心豊かな地域となるよう支援してまいりたいと思  
います。

よろしくお願いいいたします。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

---

#### （6）文化会館関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続きまして「文化会館関係報告事項」お願いします。

棚田文化会館館長、お願いします。

◎文化会館長（棚田昭彦） それではお手元の資料2ページをご覧いただきたいと思います。「人形劇のまちづくり」の推進に関する取り組みでございますが、1番の公演事業でございますけれども、定期公演が9月から開催することができました。完全予約制であります制限をかけながらの開催で10月11月と開催していく予定です。

2番の創造支援事業でございますが、基礎講座のレッスン、それとともに「ダンボールししまい」のワークショップを開催しておるところでございます。

あと、こちらのほうには書いてないんですが、今日、方針が決まりましてご報告しますが、南あわじの中学校の皆さんなんですが、昨年度末交流をしましたが、その皆さんとリモートでの交流会をズームですが、開催するという形に今、調整に入っています。予定は10月の24日の土曜日に各竜峡中学校、高陵中学、あと南あわじ市の三原中学校と関係する淡路人形協会が間に入ってちょっと調整をしておるとい状況になっております。

あと1点、公演の関係でございますが、中止となっております「オーケストラと友に音楽祭」でございますけれども、音楽の灯を未来につなげようということで、名フィル・アンサンブル・セレクションということでオケ友実行委員会の中から有志で今、できること事業実行委員会という形で今回開催することになりました。コロナ禍でございますけれども、人数を限定する中で安全・安心の対策をしながら今回こういう形で開催するという形になりましたのでご報告いたします。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

---

#### （7）図書館関係報告事業

○教育長（代田昭久） 続きまして、「図書館関係報告事項」お願いします。

瀧本中央図書館長、お願いします。

◎中央図書館長（瀧本明子） お願いいいたします。

めくっていただきまして資料ナンバー3をご覧ください。

「よむとす事業」の報告ということでご報告をさせていただきます。報告の中の(2)なんですけれども、県図書館につきましては今年度中に県自治振興センターの3階へ移転をするということで今準備を進めております。その中で、県中学校のほうにお話をさせていただきますして、ぜひ中学生に図書館に親しんでいただいて、新しい場所へ図書館が移っても使っていただくということにつなげていきたいということで、本の整理のボランティアを募集させていただきましたところ、参加して下さるという中学生が14人おりました、今、都合の良い日に出てきていただいて作業を一緒にしていただいています。その募集の紙を見て大人の方で何か自分もできることがあるんじゃないかとお声がけいただいた方も今、一緒になって作業を進めていただいております。

それから3番のところではありますが、竜丘の分館では今、竜丘小学校の四年生と六年生が授業でつくりました本の紹介文を図書館の本と一緒に展示をして地域の方に借りていただくということをしております。ほかの学校やほかの地区でもやっておりますけれども、小学生がこんな本を読んでいるだっていうことも知っていただいて、地域の方にも借りていただいております。また図書館の講座をだんだんとできるようになってきて、地名講座や合同読書会なども行いました。こちらに感想を主なものを挙げさせていただきましたので、またご覧いただきたいと思っております。

今後の予定でありますけれども、秋にはこれから先に中学生と高校生を対象に調べ方を学んで楽しんで学ぼうという企画も考えております。まず、1つ目の企画は市立図書館へ来てやっていただいて、続いて行うレベル2という企画は市立図書館だけではなくて中学校や高校の図書館でもできるようにということで連携をして進めております。

また一番下書いておりますけれども、10月27日から11月9日までは全国の読書週間となっておりますので、大勢の方に図書館を使っていただきたいと考えております。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

---

#### (8) 美術博物館関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続きまして、「美術博物館関係報告事項」お願いします。

久保敷美術博物館副館長、お願いします。

○美術博物館副館長（久保敷武康） それでは美術博物館からは、2つの展示についてのご案内をさせていただきますと思います。

1つ目は、先程来、教育長また公民館から紹介がございました「竜丘児童自由画100周年

展」でございます。教育長からは感想も含めてご紹介いただきましたが、ご覧をいただく方にいろんなことを投げかけている企画となっておりますので、ぜひ、ご覧をいただければなと 10 月 3 日から開催をしておりますのでお時間があるときにご覧いただければというふうに思います。

もう 1 つが 11 月 15 日から開催いたします「現代の創造展」でございます。今回、第 21 回を迎えます作品展でございますけれども、総勢 150 近い作品を展示する予定で準備しておりますので、こちらのほうもお時間、都合を付けていただいてご覧いただければと思います。以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

---

#### （9）歴史研究所関係報告事項

○教育長（代田昭久） 続いて、「歴史研究所関係報告事項」をお願いします。

北原歴史研究所副所長、お願いします。

◎歴史研究所副所長（北原香子） それでは資料ナンバー 4 をごらんいただきたいと思います。

6 月から 9 月のゼミ・ワークショップの活動報告について資料ナンバー 4 を表・裏ページにまとめてございます。6 月以降継続的にゼミ・ワークショップにつきましては活動できている状況でございます。

続きまして、資料ナンバー 5、歴史研究所地域史講座の報告でございますけれども、8 月 22 日に市民研究員として上河内陽子氏の講座、その裏面でございますが、9 月 19 日には田中雅孝歴史研究所の特任研究員の地域史講座を開催いたしました。それぞれ定員 40 名とさせていただきますけれども、参加者のほうはごらんいただきますように 30 名を超えるような状況でございました。今後も引き続きコロナ感染症に注意しながら講座等を進めてまいりたいと思います。

また、本日、報告にはございませんけれども、この 10 月 3 日は飯田アカデミアの第 92 講座を開催いたしまして、今回は初めての試みといたしまして講師は首都圏から、聴講者は市役所 3 階の会議室ということで、オンライン形式で開催をさせていただきます、良かったという声を、お声をいただきました。

最後に本日歴研ニュースの 108 号をお配りしてございますのでまたご高覧をいただきたいと思っております。

またもう 1 枚、11 月 14 日に開催いたします飯田アカデミア第 93 講座のご案内チラシも配布させていただきますので、ご都合が付きましたらまたご参加いただきたいと思いま

す。説明は以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま学校教育課から歴史研究所までの報告事項をいただきました。ありがとうございました。質問ご意見等があればお願いいたします。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

---

（10）今後の日程について

○教育長（代田昭久） それでは、今後の日程についてお願いします。

滝沢学校教育課長補佐をお願いします。

◎学校教育課長補佐（滝沢拓洋） それでは、本日の資料の3ページをご覧いただきたいと思えます。

まず次回の11月の定例会ですが、オに記載しておりますが、11月12日木曜日を予定しておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

主なものにつきまして記載してございますが、10月16日金曜日午後には飯伊市町村教委連絡協議会で秋季研修会が予定されておりますので、また詳細につきましては通知をお配りしておりますのでご覧いただきたいと思ひます。

日程につきましては以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

今の日程について何かご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） はい、予定された議案については以上すべてとなりますが、その他ご発言ある方いらっしゃったらお願いします。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

---

日程第10 閉会

○教育長（代田昭久） 日程第10。

以上をもちまして、令和2年度10月の定例会を閉じさせていただきます。

どうもありがとうございました。

---

閉会 午後4時8分